

報告書骨子（案）

第1章 はじめに

第2章 電気通信番号の犯罪利用に対する抜本的な対策について

1 検討の背景

1. 1 電気通信番号の犯罪利用の動向
1. 2 電気通信番号の有限資源性及び社会における位置付け
1. 3 電気通信番号を取り巻く社会のあるべき姿
1. 4 電気通信番号制度の見直しの意義

2 対策の検討

2. 1 現行の電気通信番号制度について
2. 2 関係者ヒアリング
 - (1) 電気通信番号を使用した犯罪の現状について
 - (2) 消費者団体からの意見について
 - (3) 事業者における犯罪利用対策について

3 対策の方向性

3. 1 主な意見
3. 2 対策の方向性について
3. 3 欠格事由の見直しについて
3. 4 事業者の取組について
 - (1) 事業者の取組に求める方向性
 - (2) 電気通信番号使用計画の認定の確認
 - (3) 電気通信番号提供数の制限
 - (4) 本人確認
 - (5) 当人確認
 - (6) 与信審査
 - (7) 二次卸の禁止
3. 5 認定基準の見直しについて
3. 6 認定の取消事由の見直し

4 今後の対応